

■インターネットIR情報

当社は、株主・投資家の皆さまにタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、ホームページの充実をはかるなど、IR活動の向上に取り組んでいます。

キーウェア IR

検索

<https://www.keyware.co.jp/ir/>

■IR情報

■個人投資家の皆さまへ
より深く当社グループをご理解いただくために個人投資家の皆さまへ向けた情報を発信しております。

■決算説明（動画配信）
決算説明の動画を資料とともに配信しております。業績報告や今後の戦略などについてご説明しております。

キーウェアソリューションズ 株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18

経営企画部 広報IR室

<https://www.keyware.co.jp>



※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

KEYWARE TIMES

株主通信 Vol.24

第53期 事業報告

2017年4月1日～2018年3月31日

こんなところに、キーウェア | 株式会社藤崎 様
老舗百貨店の働き方改革を推進、
生産性向上にITで貢献



KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ 株式会社
東証第二部 3799

IT can create it.



持続的な事業の成長と企業価値の向上を目指してまいります

代表取締役社長

三田 昌 三

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年3月期において、当社グループは基本方針に「既存事業の収益性向上と安定化」「ポートフォリオの多様化」「経営基盤の整備、改革」を掲げ、取り組みを進めました。既存事業においては、受注拡大に向け、既存顧客の深耕、新たなビジネスパートナーとの連携強化など、積極的な営業活動を推進しました。併せて、採算性を重視した受注活動に取り組むとともに、不採算プロジェクトを抑制し、収益性の向上をはかりました。事業ポートフォリオの多様化に向けては、農業ICTや医療・ヘルスケア領域のほか、生産性改善コンサルティングサービス「バーチャルサポートセンター（VSC）※」といった新事業を推進しました。さらに、活力あふれる企業文化を醸成すべく、社員参加型の経営改善活動を推進するなど、経営基盤の整備、改革に努めました。

こうした取り組みの結果、各事業とも堅調に推移し、当社グループの当連結会計年度の業績は、受注高は17,010百万円（前期比2,084百万円増、14.0%増）、売上高は16,752百万円（同1,379百万円増、9.0%増）、営業利益は409百万円（同318百万円増、351.4%増）となり、前期比で大幅に改善しました。親会社株主に帰属する当期純利益については、のれんの減損損失を特別損失として計上した影響などにより、204百万円（同112百万円増、122.4%増）となりました。配当金については、当期の業績に鑑み、1株あたり8円の期末配当としました。

2019年3月期は、既存顧客のシステム更新需要が継続するとともに、働き方改革や人手不足を背景にした生産性向上や、AI、IoT、フィンテックなどの新技術の進展に伴うIT投資需要が拡大すると見ており、全体的には堅調に推移すると期待しています。

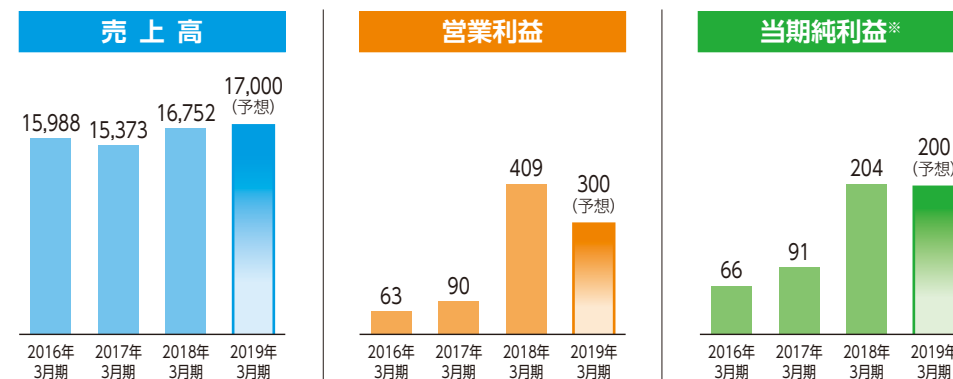
このような事業環境のなか、当社グループは既存顧客からの大型請負案件を着実に獲得・遂行すべく、グループ各社やビジネスパートナー企業と連携し開発体制を構築していくとともに、各種パッケージソリューションの活用やITコンサルティングを通じ、新規顧客の獲得に努めてまいります。また、利益体質の強化に向けて、請負化の推進のほか、開發生産性の向上や業務効率化に取り組んでまいります。さらに、持続的な成長に向けて、社員の新技术習得のための教育投資や、働きがいの向上に向けた取り組みを加速させてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※バーチャルサポートセンター（VSC）：営業部門などのホワイトカラーを中心に、低付加価値のものから高付加価値のものへ業務を組み替えていくことで、顧客の生産性向上を実現するコンサルティングサービス

連結業績ハイライト

（単位：百万円、単位未満切り捨て）



※親会社株主に帰属する当期純利益を表記しています。



こんなところに、キーウェア

Case Study

老舗百貨店の働き方改革を推進、生産性向上にITで貢献



株式会社藤崎 本店

文政2（1819）年に宮城県仙台市で創業した、200年の歴史をもつ老舗百貨店。仙台市を中心に東北地方で店舗を展開し、同エリアにおける百貨店売上額第1位。

東北地方を代表する老舗百貨店、株式会社藤崎様は、「地域に暮らすお客さまのために」という創業以来変わることのない理念のもと、地域社会に対して積極的な貢献を続けておられ、地元の方々から長年にわたって親しまれています。

また、お客さまとのコミュニケーションや信頼関係を大切に、対面販売やきめ細やかなサービスといった、百貨店ならではの「おもてなしの心」を守り続けると同時に、ECサイトの強化や地元企業・大学と連携した新たな事業の展開など、常に伝統と革新を意識した取り組みをされています。

創業200周年という大きな節目を迎えた藤崎様が着手されたのが、ITを活用した業務の効率化です。そこには、従業員の働き方改革の実現とともに、百貨店の本質である「きめ細かな対面接客サービス」に、従業員がより注力できるようにしたいとの強い思いがありました。

創業200周年という大きな節目を迎えた藤崎様が着手されたのが、ITを活用した業務の効率化です。そこには、従業員の働き方改革の実現とともに、百貨店の本質である「きめ細かな対面接客サービス」に、従業員がより注力できるようにしたいとの強い思いがありました。

当社は、そうした藤崎様の思いや現状の業務における課題をヒアリングさせていただいた上で、後方事務業務にRPA*を活用することを提案しました。

RPAとは、これまで人の手に頼って行ってきたデータの入力や転記、チェックといった定型的な業務を、高度な技術を備えたソフトウェアによって自動化することで、人間が行うよりも正確に、速いスピードでこなせるために、労働生産性向上に貢献する新たなテクノロジーとして注目されています。

第一歩として取り組んだのが、お中元・お歳暮シーズンにおける商品情報の端末

入力やデータ集計といった、定型業務の自動化です。これまでは商品名や番号の登録などをすべて手作業で行っていたため、繁忙期には多くの人手を要し、肝心の対面販売や接客業務に十分な時間を割けないことが現場の大きな課題となっていました。



藤崎様 季節ギフト 販売風景

RPAの適用に向け、当社はまず一つひとつの業務の棚卸・分析からスタート。ソフトウェアロボットが自動的に事務処理を行うために必要なルールや判断基準の作成を行いました。今回は藤崎様のご協力もあり、3カ月という短期間で導入が実現しました。

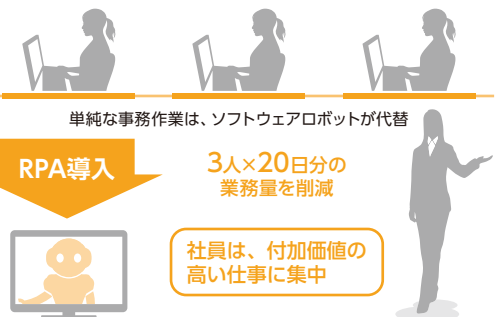
導入後は、手作業で行う場合と比べて3人×20日分の業務量が削減できると見込まれており、その分の時間や人手を接客業務にあてられると期待されています。藤崎様では引き続き、資料作成や管理業務支援といったコーポレート部門の業務にもRPAの適用を広げ、社内の働き方改革を推進されていく予定です。

このように、これまで多くの時間と人手を費やして行ってきた定型業務をソフトウェアロボットに代替させ、生産性の向上をはかるという動きは、今後ますます加速していくことが予想されます。当社はこうしたニーズを的確にとらえ、RPAを活用したソリューションの提供をさらに広げてまいります。

RPA 導入による働き方改革

生産性向上 + α

- 働き方改革に貢献
- 作業精度のUP
- 付加価値の高い対面接客業務の充実



*Robotic Process Automation（ロボティック・プロセス・オートメーション）の略

Close Up キーウェア

新たな取り組みやビジネス展開事例をご紹介します

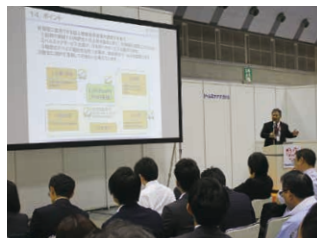
Close Up Keyware

>>> IT Event

■ヘルスケアIT 2018に出展し、「健康からだコンパス LifeRoute」を紹介

2018年4月に東京ビッグサイトで開催された「ヘルスケアIT 2018」に出展いたしました。

近年、企業・自治体から、社員や住民の健康を管理するソリューションのニーズが高まっています。当社は、個人の健康情報を記録・管理するソリューション「健康からだコンパス LifeRoute（ライフルート）」のサービス内容の紹介、対応機器の展示に加え、「最先端の健康経営企業や地域医療連携で活用されるヘルスケアソリューション『健康からだコンパス LifeRoute』のご紹介」と題した講演を行いました。健康事業に取り組む自治体、ヘルスケア関連企業など多くの皆さまにご来場いただきました。



講演の模様

>>> Seminar

■クラウドERP、RPA、働き方改革など、最新テーマのセミナーを開催

当社では、最新のソリューションやサービスを紹介するため、さまざまなテーマでセミナーを開催し、毎回多くの企業の皆さまにご参加いただいております。

今後もお客さまのニーズが高いテーマや最新のトピックを扱ったセミナーを実施してまいります。



「企業価値を高める働き方改革セミナー」の模様

2017年10月から2018年3月までに開催した主なセミナー

- 企業価値を高める 働き方改革セミナー ～ITの利活用による生産性向上～
- 定型業務自動化セミナー ～噂のRPAを見て実感！～
- ポスト2020を勝ち抜け、クラウドERPでリアルタイム経営を実現（日本電気株式会社と合同開催）

キーウェアの扉

皆さまとのコミュニケーションページ

Door to Keyware

CSR活動－地域とともに－

当社グループでは、地域社会の環境美化や住みよい街づくりに貢献することを目的に、本社の周辺地域を対象に月1回、清掃活動を実施しています。また、昨年11～12月には周辺にあるけやき並木の落ち葉清掃を週2回、計12回実施し、役員・社員約200名が参加しました。

これからも地域社会とつながりを大切にしながら社会貢献活動を推進してまいります。



落ち葉清掃活動の模様



当社では、毎年「CSR報告書」を発行しております。当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

▶ <https://www.keyware.co.jp/about/csr/report-index.html>

知って得する！

ICT時代の活用術17

Lアラートで、災害時の緊急速報を迅速にキャッチ

「Lアラート」は総務省が推進する災害情報共有システムで、地方公共団体などが発信する地域の災害関連情報を集約し、多様なメディアを通して住民に一括配信するものです。台風や土砂災害といった自然災害情報ははじめ、避難勧告・指示、避難所情報、気象情報などの緊急速報を、テレビ、ラジオ、インターネットなどで迅速に入手できます。また、被災の恐れがあるエリアの携帯電話やスマホには、「エリアメール」や「緊急速報メール」として配信されるので、ご利用中の携帯会社などにサービス内容やご利用方法をご確認されてみてはいかがでしょうか。



連結財務諸表(要約)

単位：百万円、単位未満切り捨て

Financial Data

連結貸借対照表

	前 期 2017年 3月31日現在	当 期 2018年 3月31日現在
--	-------------------------	-------------------------

(資産の部)

流動資産	5,534	6,457
固定資産	3,578	3,339
有形固定資産	114	106
無形固定資産	790	472
投資その他の資産	2,673	2,760
資産合計	9,113	9,797

POINT 資産の部

流動資産は、現金及び預金、売掛金の増加などにより前期末比922百万円増加の6,457百万円となりました。固定資産は、基幹システムの減価償却、のれんの減損などにより前期末比239百万円減少の3,339百万円となりました。

(負債の部)

流動負債	2,526	3,062
固定負債	771	687
負債合計	3,297	3,749

POINT 負債の部

長期借入金の返済などによる減少はありましたが、短期借入金の増加などにより前期末比452百万円増加の3,749百万円となりました。

(純資産の部)

株主資本	5,792	6,010
その他の包括利益累計額	23	36
純資産合計	5,816	6,047
負債純資産合計	9,113	9,797

POINT 純資産の部

当期純利益の計上などにより前期末比230百万円増加の6,047百万円となりました。その結果、当期末の自己資本比率は、61.7%となりました。

連結損益計算書

	前 期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	当 期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	15,373	16,752
売上原価	12,963	13,985
売上総利益	2,409	2,767
販売費及び一般管理費	2,318	2,357
営業利益	90	409
経常利益	142	465
親会社株主に帰属する当期純利益	91	204

POINT 売上高

運輸系、通信系の大型案件の獲得や官庁系、医療系、金融系の拡大などにより前期比1,379百万円増収の16,752百万円となりました。

POINT 営業利益

売上増加、売上総利益率の改善により前期比318百万円増益の409百万円となりました。

POINT 連結キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フロー計算書

	前 期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	当 期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,034	551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△714	△52
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	271	433
現金及び現金同等物の期首残高	885	1,156
現金及び現金同等物の期末残高	1,156	1,590

営業CFは、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費、のれんの減損損失などの計上により551百万円のプラスとなりました。投資CFは、無形固定資産の取得などにより64百万円のマイナスとなりました。財務CFは、短期借入金の増加、長期借入金の返済などにより52百万円のマイナスとなりました。その結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比433百万円増加の1,590百万円となりました。

株式情報

(2018年3月31日現在)

Stock Information

株式情報

発行可能株式総数 36,440,000株
発行済株式総数 9,110,000株
株主数 3,358名

●主要法人株主

日本電気株式会社
住友生命保険相互会社
株式会社JR東日本情報システム
株式会社三井住友銀行

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会、期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【郵便物送付先】	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	(フリーダイヤル)0120-782-031
【インターネット ホームページ URL】	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部

株式に関するお手続き

- 住所変更等のお届出およびご照会について
お取引の証券会社にお問い合わせください。証券会社の口座のご利用がない株主様は上記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。
- 未払配当金のお受取りについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申出ください。

会社概要

(2018年6月22日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	キーウェアソリューションズ株式会社
住所	〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
創立	1965年5月
資本金	17億37百万円
売上	167億52百万円(2018年3月期・連結)
従業員数	1,072名(2018年3月31日現在・連結)
取得資格	品質マネジメントシステム登録事業者 プライバシーマーク使用許諾事業者 情報セキュリティマネジメントシステム登録事業者 環境マネジメントシステム登録事業者

役員

代表取締役社長	み た まさ ひろ 三 田 昌 弘	監査役	しま だ たか お 島 田 孝 雄
取締役	あら かわ しん いち 荒 河 信 一	監査役	たき た ひろし 瀧 田 博
取締役	たか お せい いち 高 尾 誠 一	監査役	おか ざき しん じろう 岡 崎 伸二郎
取締役	さわ だ のぶ ゆき 澤 田 伸 行		
取締役	やま もと ひろ あき 山 本 浩 昭		
取締役	おか だ かつ とし 岡 田 勝 利		
取締役	たか の いさ お 高 野 功		

※取締役 岡田 勝利および高野 功は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
※監査役 瀧田 博および岡崎 伸二郎は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。
※取締役 岡田 勝利および監査役 瀧田 博は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。